

【部会名】 柏市障害者差別解消支援地域協議会 柏市権利擁護ネットワーク会議における 障害者に関する専門部会	【担当】 障害福祉課 石月・三原
【開催報告】 1 柏市障害者虐待防止サポートチーム派遣事業 (1) 日時：令和6年11月20日(水)午後1時30分～午後3時30分 ア 参加事業所：豊四季光風園 イ 内容：障害者虐待防止について（講義）・事例を用いたグループワーク ウ 講師：社会福祉法人まつど育成会 統括施設長 早坂 裕実子氏 (2) 日時：令和6年11月21日(木)午前10時00分～午後12時00分 ア 参加事業所：FURAN株式会社（児童発達支援・放課後等デイサービス） イ 内容：障害者虐待防止研修・グループディスカッション ウ 講師：児童発達支援センターリトルペガサス 施設長 齋藤 菜実子氏 児童発達支援センターリトルペガサス 沓澤 早紀氏 2 令和6年度第2回柏市障害者権利擁護研修会 (1) 日時：令和6年11月29日(金)午後2時00分～午後4時30分 (2) 内容：講義「アクセシブル社会を考える」 グループワーク「アクセシブルなイベント運営を考える」 (3) 講師：公益財団法人 共用品推進機構 専務局長・専務理事 星川 安之氏	
【今後の活動予定】 1 令和6年度第2回東葛市町村虐待防止担当者連絡会 日時：令和7年2月12日(水)午後2時00分～午後4時00分 2 令和6年度第2回柏市権利擁護ネットワーク会議における障害者に関する専門部会 及び柏市障害者差別解消支援地域協議会 日時：令和7年2月29日(木)午後2時00分～午後4時00分 3 令和6年度第3回柏市障害者権利擁護研修会 (1) 日時：令和7年3月11日(火)午後2時00分～午後4時00分 (2) 内容：カスタマーハラスメントについて(仮)	

【部会名】 柏市障害児等医療的ケア支援連絡会	【担当】 社会福祉法人ぶるーむ 後藤
【開催報告】 会議開催なし 【その他】 1 特定行為従事者フォローアップ研修 2024 年 10 月 9 日（水）開催 地域生活支援拠点ぶるーむの風 会議室にて 『安心して豊かな生活が送れる地域であるために ～福祉と医療の連携における医療的ケア～』 これまで特定行為従事者研修（1・2 号／3 号）を修了した市内サービス提供事業所職員を対象に ・ 介護職員が行うことができる医療的ケアについて ・ 厚生労働省通知により「医療行為」に該当しないと整理されている行為について ・ 医療的ケアの提供における緊急時の医療機関との連携について ・ 特定行為研修（実地研修）の手続きについて の講義を行った。 2 保育運営課との話し合い 2024 年 10 月 24 日（水）／10 月 31 日（水） 柏市役所 分室 1 にて 市立保育園に通園する医療的ケア児の延長保育受入れについて、県医ケア児支援センター「ぼらりす」と市内医ケアコーディネーターを交え、事例を通じた意見交換を行った。	
【今後の活動予定】 1 全体会 第 2 回：日程調整中（2025 年 2 月下旬～3 月上旬に開催予定） 2 コアメンバー会議 2025 年 2 月 6 日開催予定 3 児童ワーキング 日程調整中（2025 年 1 月下旬開催予定）	

【部会名】 柏市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進	【担当】 たんぽぽセンター 森根
【開催報告】 1 コア会議 (1) 第4回：10月23日（水）対面による開催 ア 第3回実務者会議の振り返り (意見) ・居住支援法人とは何か、どんなことをしているのか等貴重な支援の内容を知ることができた。 ・参加者、特に高齢部門の支援者はとても興味を持っていた。障害も高齢も困っている部分は一緒と感じた。事例を聞いたのもよかった。 ・医療の現場は知らないことが多く、退院支援が広がらないと思った。もっと医療現場のスタッフにも知る機会があればよいと思った。 イ 第4回実務者会議について (内容) ・くらし部会、柏市保健所の支援者研修会を合同で実施。 ・千葉大学医学部付属病院精神神経科 看護師長を講師に招き、精神症状の理解と対応について講義頂く。 (2) 第5回：12月25日（水）対面による開催 広域アドバイザーの中曽氏、岡部氏も参加。 ア 第4回実務者会議の内容報告 イ 第5回実務者会議について (日時) 令和7年1月22日（水）実施予定 (内容) ・スクールソーシャルワーカーの役割 ・相談の現状について講義、意見交換 ウ 令和6年度代表者会議について ・代表者委員の選定 ・議題について検討 ・代表者会議までのスケジュール確認 エ 「にも包括構築支援事業」と次年度の取り組みについて意見交換 (意見) ・課題解決にむけて、毎年推進していく内容と繰り返し継続して行う内容（研修会等）の2本軸で行う。 ・課題と取り組みを構造的に整理して評価する。 ・当事者にも意見をもらい、取り組み内容を整理する。	

2 実務者会議

(1) 第 4 回：11 月 20 日（水） 対面による開催

くらし部会・にも包括・柏市 合同研修会

ア 講義：テーマ「精神症状の理解と対応」

講師：千葉大学医学部附属病院精神神経科 看護師長 森内 加奈恵氏

イ 質疑応答

(意見)

- ・精神疾患について、専門的な話が聞けてとても勉強になった。
- ・他部門や管理者の意見が聞けてよかった。
- ・現場の生の声が聞けて、非常に参考になった。
- ・意見交換の時間が短かった。もっと意見交換をしたかった。

【今後の活動予定】

1 コア会議

第 6 回：2 月 26 日（水）対面による開催

2 実務者会議

(1) 第 5 回：1 月 22 日（水）対面による開催

(2) 第 6 回：3 月 26 日（水）対面による開催

3 代表者会議

2 月 13 日（木）対面と ZOOM によるハイブリット開催

【部会名】 柏市地域生活支援拠点運営協議会	【担当】 障害福祉課 石月・三原
【開催報告】 1 柏市地域生活支援拠点運営協議会 (1) 第 1 回：令和 6 年 6 月 23 日（金）対面による開催 ア 令和 5 年度柏市相談支援機能強化事業等評価 ・障害福祉課より、資料に基づき、令和 5 年度相談支援機能強化事業等評価について報告を行った。 現状、困難ケースの対応に苦慮している事業所が多いこと、拠点に繋がるために壁があると感じている等が意見としてあった。基幹相談支援センターとして地域の指定相談支援事業所との関係を密にしていくことが今後の課題として挙げた。 イ 令和 5 年度各拠点の活動報告及び令和 6 年度各拠点の活動計画 ・各拠点より提出のあった事業計画書及び補足資料に基づき、令和 5 年度各拠点の活動報告及び令和 6 年度各拠点の活動計画の報告があった。 各拠点の体験の機会・場の提供の件数や成年後見の一次相談機関としての件数等について意見があった。また、後見人報酬費助成制度について、柏市は近隣市に比べ生活困窮者が対象ではないため、今後の改善を期待したいとの意見が挙げた。 ウ ノーマライゼーションかしわプラン 2024 の重点施策 ・障害福祉課より、資料に基づき、ノーマライゼーションかしわプラン 2024 の重点施策について報告を行った。 各部会代表より、基幹・拠点の機能について改めて理解を深める必要があると感じ今後どのように基幹・拠点と連携していくかを考え、部会としての働きかけをしていきたいとの意見が挙げた。 エ 令和 6 年度障害福祉サービス等報酬改定 ・障害福祉課より、資料に基づき、令和 6 年度障害福祉サービス等報酬改定について報告を行った。 オ 柏市地域生活支援拠点運営協議会運営要領の改訂 ・障害福祉課より、資料に基づき、柏市地域生活支援拠点運営協議会運営要領の改訂について報告を行った。 カ 介護給付費に係る支給決定事務等 ・障害福祉課より、資料に基づき、介護給付費に係る支給決定事務等について報告を行った。 (2) 第 2 回：令和 7 年 1 月 24 日（金）対面による開催 ア 4 拠点会議の報告について ・4 拠点の代表者ぶるーむの風相談室松田氏より、資料に基づき、4 拠点会議の報	

告を行った。拠点それぞれの課題や取り組みについて意見交換を行った。その中で、拠点と、相談支援事業所の連携の不十分さが意見としてあった。また、連携の促進や関係の構築のために、制度の周知や相談支援事業所のニーズをくみ取る努力が必要であるとの意見が挙げられた。

イ 柏市くらしコーディネーターと拠点の連携について

- ・ 柏市くらしコーディネーターの若松氏より資料に基づき事業説明を行った。
若松氏と拠点がそれぞれに求める役割や機能について確認も含め意見交換がなされ意見交換の中で拠点相談員の対応のばらつきや相談支援専門員の人材育成等が課題であることが意見としてあった。意見に対して拠点としては、拠点間での対応の共有や共通化を図ること、若松氏としては、業務の中で行う相談員向けの研修や千葉県内においてGH等支援ワーカーとの連携によって更なる社会資源を発掘することが今後の課題として挙げられた。

ウ その他

- ・ 電子申請の拡充・福祉サービス支給決定基準の変更について
障害福祉課福祉サービス担当より資料に基づき説明。

【今後の活動予定】

- 1 柏市地域生活支援拠点運営協議会
令和7年度は、年2回の開催予定
次回開催日時は、令和7年6月頃を予定